

中小企業の脱炭素経営を 強かに支援するツール 「環進帳」の紹介



会計データ からCO₂排出量を自動的に把握

(株) バックキャストテクノロジー総合研究所

2023年2月



環進帳

CO₂排出量算定・削減ツール「環進帳」の概要

1. 政府による「2050年カーボンニュートラル宣言」（2020年10月）以降、排出量算定支援企業が乱立（大手コンサルティングファームからフリーランスまで）。
 - 算定費用も数万円/回～数億円/回と様々
2. 環進帳は、CO₂排出量を会計情報と紐づけて自動算出できる唯一のツール。（特許取得済み：特許第6896315号、特許第6864404号）



使い慣れている会計ソフトから総勘定元帳をCSVファイルで出力



総勘定元帳の勘定科目と環進帳の科目を紐づけし、アップロード&自動読込



その場で直ぐにCO₂排出量を表示



※CO₂排出量の大きい科目（例：電気・ガソリン等）は使用量を入力することを推奨します。

3. 会計情報をもとに自社で算出から削減まで可視化できるので、ブラックボックスになりません
4. 環進帳の算定システムは、ISO14064-3※に照らして妥当なものであることが、ISO認証にかかわる第三者機関によって確認されています。

※ GHG算定の妥当性確認・検証に関するルールを定めた国際規格

1. Scope1、2のみならずScope3（上流）のCO2量を算出できます。
2. 経費支出について、同業他社との比較表を表示します。
3. CO2排出量削減に参考となるSDGs事例を検索・参照できます。
4. 業種・業界平均と比べたCO2およびコスト削減目標の想定値を表示します。
5. CO2の削減手段を、コスト・CO2の両面からシミュレーションできます。
6. 補助金獲得に必要な炭素生産性を算出できます。

※更にSBT、TCFD、CDP SDGs、RE100等の国際的なルールへの対応も可能です。



一般向け有料プラン比較表

	Basic	Advanced	Premium	近日提供予定 家庭向け
CO ₂ 排出量算出	全科目を対象 (電気、ガス、燃料、原材料費、出張費、運搬費 等)			電気 エネルギー 通信費等
データ入力方法	自動入力(csvファイル読込) OR 直接入力			-
経費支出分析	業界平均比較	同左	左記に加え、業種・業界平均 と比べた経費支出削減目標を 表示	-
CO ₂ ・コスト削減 検討	-	SDGsの取組み事例を表示	左記に加え、CO₂/コスト削減 量の概算、最適解分析、炭素 生産性の算出	こどもSDGs
料金 (年額、税抜)	5万円 (1アカウント)	10万円 (1アカウント)	20万円 (1アカウント)	-

1アカウントで**3グループ**の
設定/算出が可能です

[グループの例]
3年分
3つの部署
3つの会社

※アカウント数による割引があります (10%~50%)



環進帳

「環進帳」の活用方法

1. 中小企業様自らの利用（自分事化して進めたい）

それぞれの課題に応じて廉価版から削減対策支援版まで選択。例えば、

- まずはCO2排出量を把握し、取引先などに開示したい → Basic版
- CO2排出量の削減手段も知りたい → Advanced版
- CO2排出量削減と同時にコストダウンの手段も知りたい → Premium版

注) いずれの版でも算出結果は対外的報告や提供が可能です。

2. 中小企業支援機関様による利用（伴走ツールとして）

地域金融機関様、公認会計士、税理士、中小企業診断士様など

- 環進帳の使い方からCO2排出量現状把握等の支援
- CO2削減によるコスト削減支援等のコンサル等
- 国等の省エネ等に係る各種補助金獲得や脱炭素融資等支援
- その他、情報公開による他地域・他業種等とのマッチングアライアンスによる販路拡大等

ご清聴ありがとうございました。
脱炭素でのお困りごとがございましたら、BCT
総研まで以下からお気軽にご相談下さい。

(株) バックキャストテクノロジー総合研究所 (BCT総研)
住所：東京都港区虎ノ門1丁目2-20 第3虎の門電気ビルディング5階
メール：info@bct2050.com HP：<https://bct2050.com>



<https://bct2050.com/sustainability/>